

Pseudomonas sp. 由来の N-アシルマンノサミン 1-デヒドロゲナーゼ、組換え品

Cat. No. NATE-0470

Lot. No. (See product label)

はじめに

○明

酵素学において、N-アシルマンノサミン 1-脱水素酵素 (EC 1.1.1.233) は、次の化学反応を触媒する酵素です: N-アシル-D-マンノサミン + NAD+ \leftrightarrow N-アシル-D-マンノサミンラクトン + NADH + H+。したがって、この酵素の2つの基質はN-アシル-D-マンノサミンとNAD+であり、3つの生成物はN-アシル-D-マンノサミンラクトン、NADH、およびH+です。この酵素は酸化還元酵素のファミリーに属し、特にNAD+またはNADP+を受容体とする供与体のCH-OH基に作用するものです。

別名

N-アシルマンノサミン 1-デヒドロゲナーゼ; EC 1.1.1.233; N-アシルマンノサミン デヒドロゲナーゼ; N-アセチル-D-マンノサミン デヒドロゲナーゼ; N-アシル-D-マンノサミン デヒドロゲナーゼ; N-アシルマンノサミン デヒドロゲナーゼ; 117698-08-5

製品情報

種

ショードモナス属

由来

E. coli

形態

凍結乾燥粉末; 粉末には牛アルブミンとスクロースも含まれています。

EC番号

EC 1.1.1.233

CAS登録番号

117698-08-5

分子量

mol wt ~120 kDa (gel filtration)

活性

> 45 ユニット /mg タンパク質

緩衝液

0.1 M トリス-HCl, pH 8.2: 可溶性 5 mg/mL

単位定義

1ユニットは、N-アセチル-D-マンノサミンをN-アセチル-D-マンノサミノラクトンに酸化します。これは、pH 8.2、37°C、NADの存在下で、1分あたり 1.0 μmole の速度で行われます。

保管・発送情報

保存方法

-20°C